

リヤカー専門店リヤカーの森の大型軽量アルミリヤカー、スポーツ協会で導入拡大—本部用テントや大型スポーツ器具の運搬に便利—

リヤカー専門店リヤカーの森は、本部用テントや会議用長机などの大型資材を一度に運搬できる大型軽量アルミリヤカーが、全国のスポーツ協会・競技団体・大会実行委員会を中心に導入拡大していることを発表いたします。

近年、スポーツイベントの運営現場では、「安全性」「省人化」「コスト管理」という三つの課題が同時に求められています。

その中で、リヤカー専門店リヤカーの森の大型軽量アルミリヤカーは、運営の負担を根本から見直す実用的な解決策として注目を集めています。

なぜ今、スポーツ協会に「運搬改革」が求められているのか？

マラソン大会、球技大会、地域スポーツフェスティバル、学校大会など、あらゆる競技イベントに共通するのが設営・撤去作業です。

特に本部周りでは、

- ・本部用テント
- ・会議用長机・椅子
- ・音響機材
- ・発電機・給水タンク

といった大型かつ重量のある資材を、短時間で安全に移動させる必要があります。

しかし現場では、

- ・運営スタッフやボランティアの慢性的な不足
- ・高齢化による作業負担の増大
- ・事故・転倒リスクへの配慮

といった背景から、「人力で持つ」「何度も往復する」という従来の方法が限界を迎えています。

なぜリヤカー専門店リヤカーの森が選ばれるのか？

スポーツ協会がリヤカー専門店リヤカーの森を選ぶ理由は明確です。

それは、大量導入に適した価格設定と、掛け払い対応という運用面の柔軟性にあります。

理由1. お手頃な価格で複数台導入できる

スポーツ大会では、

- ・本部用
- ・給水所用
- ・設営・撤去用

と用途ごとに複数台のリヤカーが必要になるケースが少なくありません。

リヤカー専門店リヤカーの森は、直販体制と自社工場生産により中間コストを削減し、同等スペックの他社製品と比較して最大45%安価な価格帯を実現しています。

これにより、1台だけの導入ではなく、「必要な台数を一気に揃える」という現実的な選択が可能になります。

理由2. 掛け払い対応で団体会計と相性が良い

スポーツ協会や大会実行委員会では、

- ・大会終了後に精算
- ・年度予算での支払い
- ・補助金・助成金後払い

といった会計フローが一般的です。

リヤカー専門店リヤカーの森では、請求書払い・掛け払いに柔軟対応しており、支払い方法が合わずに導入を断念するといった事態を防いでいます。

本部用テント運搬で特に支持される**R255k**

中でも、スポーツ協会からの問い合わせが特に多いのがR255kモデルです。

R255kは、

- ・会議用長机(1800mm)
- ・本部用テント一式
- ・給水タンク・資材ケース

を一度に積載できる超大型設計が特長です。

荷台サイズは法人・公共団体の利用を想定して設計されており、「載せられない」「はみ出す」といったストレスを感じさせません。

<https://rear-car.jp/aluminum-rear-car-255k/>

超大型でも扱いやすい理由

R255kは超大型でありながら、

- ・本体重量約25.5kg
- ・アルミフレームによる高剛性
- ・ノーパンクタイヤ標準装備

という設計により、少人数での運搬を前提としています。

これにより、女性スタッフや高齢のボランティアでも無理なく扱える点が、現場で高く評価されています。

R255kと台車・他社製リヤカーとの比較で見える違い

一般的な業務用台車は、

- ・荷台が小さく長尺物に不向き
- ・芝生や砂利道で不安定
- ・耐荷重に余裕がない

といった制約があります。

一方、スチール製の大型リヤカーは、

- ・本体重量が重く取り回しが大変
 - ・保管場所を取る
 - ・価格が高く複数台導入しづらい
- という課題を抱えています。

リヤカー専門店リヤカーの森のアルミ製大型モデルは、これらの欠点を解消し、「軽い・強い・たくさん載る・導入しやすい」というバランスを実現しています。

R255k導入現場から寄せられる評価

実際に導入したスポーツ協会からは、
「設営時間が大幅に短縮された」
「人手が少なくても大会運営が回るようになった」
「複数台導入して本部周りが安定した」
といった声が寄せられています。

今後の展望

リヤカー専門店リヤカーの森は今後も、スポーツイベント、地域行事、学校行事、防災訓練といった現場に向け、実務に根ざした運搬ソリューションを提供してまいります。

【執筆】

リヤカー専門店リヤカーの森
マーケティング企画部 落合純香
公式サイト：<https://rear-car.jp/>